



CiNiiほかに関連語提示機能を ~ つっこみの第一回 ~

平成21年10月7日
図書系職員のためのアプリケーション
開発講習会

TRICK OR TREAT



企画はたんに思いつき

- たまたま、Yahoo!のサイトで「**Yahoo! 関連語**」というサービス(Web API)をみつけました
- これと既存の情報システムを組み合わせれば、簡単に関連語提示機能つきにできるのではないかというのが、「**思いつき**」
- うまくものになるかはお楽しみ(「保障の限りでは全然ない」ともいう)です



実装について

- ブックマークレットを使うか
- ブラウザのアドオンを使う
 - FireFoxなら、Greaemonekyで
 - Internet Explorer でもなにかあったはず



企画を具体的に思いついたところで、 リサーチを開始！

- デザイナー奥山 清行氏の著書「人生を決めた15分 創造の1/10000」によると、リサーチはつくるものの方向性が決まるまではしないほうがよいらしいです。
- それに習ってというわけでもないのでありますが、企画を立ててからリサーチを開始しました。
- はたして、世の関連語ビジネス(?)はどのようになっているのでしょうか？



情報検索には 関連用語提示が有用だ！

- 「**情報検索には適切なキーワード選択が重要である**」というのは、自明なためかあまり議論にもならないみたい
- むかしから、MedlineのシステムでMESH(医学用語のシソーラス)をブラウジングする機能とかありましたし...
- もんだいは、重要なわりに**なぜか普通のOPAC**にはそういう機能が付属していないことかなあと



関連語提示機能ありの所蔵目録

- WebCat Plusや国会図書館PORTA
 - 文章からの連想検索、に加えて関連用語の提示機能がある
 - 形態素レベルの関連キーワード表示なので、関連キーワードのAND検索のひと手間が必要かも
- Subject World
 - BSH(基本件名標目表)や、NDC(日本十進分類)から、大阪市立大学OPACの所蔵をナビゲート
 - ただし、いまはOPACへのリンクがなくなっているみたい
- NDLSH Suggest
 - NDLSHから、大阪市立大学OPACとWebCat Plusへのナビゲート



裏技というほどでもないのですが..

- OPACをOpenSearch化して、ブラウザの検索窓に登録する
- そうすると、ブラウザの検索窓についている、Google Suggestの検索キーワード候補提示機能がそのまま使えたり
- 自分で手間をかけて作るならそれより使い勝手がよくないと、あまり意味がないかも(もっとも、東大OPACはOpenSearch化していないのでこれに関しては意味ありですが...)



世に関連語提示の仕組みは あまたあり

- Webからの関連語抽出
 - Set Expansion (Webページからリスト状になっている箇所を探しだし、同位語のリストをつくる)
 - Google Sets
 - Boo!Wa! (論文によるとGoogle Setsより精度が高いらしい)
 - Webの文章中で共起しているものを提示
 - GoogleやYahoo!の検索結果画面上部にでてくる関連語
 - それ以外にも、日本語の特性を利用するなどいくつかの方法がある
- 検索クエリのログ等の学習により、検索候補語を提示
 - Google Suggest
 - Yahoo! 関連語
- 辞書やシソーラスを使う
 - 知のコンシェルジュ
 - Subject World
 - NDLSH Suggest
- 連想検索
 - 検索対象のメタデータ(目録や帯情報)から関連語を抽出する
 - WebCat Plus
 - 新書MAP
 - など



そして、これから

- どうしたものかとおもいつつ、第2回に続く...